和東の歴史年表

時代	年代	日本の歴史 事項	年代	和東の歴史とできごと 事項
縄文時代	約一万五千年前～	土器の使用が始まる		この時代の遺跡や遺物は町内では見つかっていない
弥生時代	約二千五百年前～	米つくり、金属の使用が始まる		この時代の遺跡や遺物は町内では見つかっていない
古墳時代	三世紀半ば～七世紀	前方後円墳など多くの古墳がつくられる	五世紀 六世紀 不明	原山古墳（後半）、三本柿ノ塚古墳（末）、大杉古墳（後半から前半） 福塚古墳（前半）、二本一古墳（前半）、坂尻古墳（後半） 園大塚古墳、湯谷ノ原古墳、太鼓山古墳
飛鳥時代	五九三年 六四五年 六九四年	聖徳太子、推古天皇の摂政となる 大化の改新 藤原京に都をおく		
奈良時代	七一〇年 七四〇年 七四五年 七八四年	平城京に都をうつす 恭仁京に都をうつす 平城京にもどる 長岡京に都をうつす	七四二年 七四四年 七六〇年 奈良時代後半	恭仁京東北道が開かれ、和東を通り紫香楽へ通じる 聖武天皇の皇子安積親王が死去し、「和東山」に葬られる 和東山の炭が奈良の法華寺に運ばれる 園の観音寺の菩薩坐像がつくられる（木心乾漆）（京都府指定文化財）
平安時代	七九四年	平安京に都をうつす。現在の京都	平安時代初頭 平安時代後期 一一八三年	原山薬師寺の薬師如来坐像がつくられる（重要文化財） このころ、和東杣庄は東大寺や元興寺、興福寺等の材木を伐り出す杣山となっている このころ、和東杣庄は興福寺の領地（荘園）となっている このころ、鷲峰山金胎寺が建てられる 園の観音寺の男神坐像がつくられる（京都府指定文化財） 源義仲追討のため、和東杣や天山杣（切山）の杣人が徴用されようとして、反対している
鎌倉時代	一一八五年 一一九二年	源頼朝が諸国に守護地頭を置く 源頼朝、鎌倉幕府将軍となる	一一九〇～九九 鎌倉時代前期	和東の謀叛人の城を掃部頭親能が攻め落とす このころ、和東杣庄のなかに北野天満宮や東寺の領地となったところもある 金胎寺の弥勒菩薩坐像がつくられる（重要文化財）

和東町史編さん室作成